

まね。

徒勞 骨折りー損。

努力 「しっかりする」と同じ手まね。

泥棒 「賊盜」と同じ手まね。

とんぼ 「蝶」の要領で両手の親指を曲げてつなぎ合わせ、両手の人差指と中指（この場合他の三指は折り曲げてある）を上下に動かす、とんぼの羽根。

トンネル 掌を下に向け、親指と人差指の間を開いて五指を彎曲させた左手（トンネルの穴の形に）その中を掌を内側にし五指の指頭を左にさした右手を通過させる。

ナ

名 名前 「氏名」と同じ手まね。

ない 手首を軸にして五指の指頭を上にした両手の掌を左右にくるくるとさせる。誰

れもがするように手になにもないことを示す身振。

内密 一般に誰れもが内証話をするようにする時に、五指の指頭を上にし掌を同じく右側にした両手で左頬から口もとを隠くす。

尚 「その上」と同じ手まね。

治る 「消える」と同じ手まね。病気の痛苦が消えること。

長い 掌を左側にして五指の指頭を集め合わせた右手。掌を右側にして五指の指頭を集め合わせた左手。この両手を左右に互の指頭でつけ合わせ、一方の手を前へ離してそのままつすぐに長く引いて行く。長い糸を繰り出すように。

仲直り 改めてー仲よし。

仲間 「同輩」と同じ手まね。

仲悪い 五指の指頭を上にし掌を右側にした右手、五指の指頭を上にし掌を左側に

した左手。この両手の手甲をびったりとつけ  
合わせ（背中合わせて）上下にこすり合う。

仲よし 「友」と同じ手まね。

なくなる (イ) 「消える」と同じ手まね。

(ロ) 掌を上向けた左手の上に、掌を下向けた  
右手を軽く叩たたき降してから、その右手を前  
へへらして、左手からまっすぐに離して行  
く。「使い果たす」と同じ手まね。即ち「す  
ってしまった」である。(ハ) 掌を下に向け、  
親指の指頭を下にさし、他の四指の指頭を前  
方にさした両手を少しの間隔を置いて左右に  
並らべて、同時に親指と他の四指の指頭をつ  
け合わせて閉じる。

仲人 仲介一人（男性或は女性）

濱 海岸と同じ手まね。

泣く 「悲しい」と同じ手まね。(イ) 掌を

眼にあてがい涙を拭く身振。

情 (イ) 「情をかける」の場合。同情—愛

する。(ロ) 「情深い」の場合。心—柔らかい

(イ) 「情知らぬ」の場合。心—冷い。

情ない 「悲しい」と同じ手まね。

馴染 (イ) 会う—会う—会う—顔知ってい

る。(ロ) いつも—来る—仲よし。

何故 理由—何に。

名高い 名前—掲げる。

夏（暑い） (イ) 流れる汗を表現する心持

で、両手の五指の指頭で夫々の左右のこめか

みから頬をなで降す。(ロ) 右手を扇か団扇を

持っている姿態にしてあおる身振り。

捺印 左上上向けた掌の上に、右手を大き

な持印判をつた姿態にして捺印する身振り。

なつかしい 「思出」と同じ手まね。

納得する 「解る」と同じ手まね。

納得いかない 「不満」と同じ手まね。

何に 五指の指頭前方にさし、掌を左側に

した右手を前へさし出して行く。この手まね